「個人より国家」路線への暴走を許さない！

2.11「建国記念の日」を考える

平和学習会

アベ政治のけん引役「日本会議」の実態

～地域にはびこる“草の根改憲の動き”～

|  |  |
| --- | --- |
| **2**月**8**日（月）18：00～20：00（開場17：30）会場　**労働福祉事業会館5F**　講師　上杉　聡　さん日本の戦争責任資料センター事務局長＜プロフィール＞　心に刻む会、強制動員真相究明メット、遺骨問題の解決へ全国連絡会などの中軸として、日本の戦後補償運動をリード。「つくる会」教科書採択を許さない取り組みでも先頭に立つ。　著書に「天皇制と部落差別」「脱ゴーマニズム宣言」など。 | 昨年の戦後70年は、日本の市民社会全体が怒りに燃え、「戦争法」反対の取り組みに全力でぶつかりました。しかし、安倍政権は世論を顧みず日本社会を戦前に回帰させるがごとく暴走を続けています。昨年11月の「日本会議」主導で開催された「憲法改正」集会に1万人を超える参加者があり、安部首相はビデオメッセージで改憲へむけた決意を示しまた。もし、参議院選で3分の2の議席を与えてしまえば、その動きが加速することは必至です。地域社会でも、育鵬社版中学校教科書の採択運動を通じて、「日本会議」の動きが活発化しています。侵略戦争と植民地支配をアジアの解放の戦いと位置づけ、家父長制と階級性を基本にした儒教的・封建的社会制度を求める「日本会議」ゆがんだ思想は、ヘイトスピーチなどに代表される外国人蔑視と夫婦別姓排除などに見られる天皇制を基本にした上位下達の社会構造をつくりだそうとしています。これは戦争への道につながるものです。こうした状況を踏まえて、日本人の歴史認識や人権意識についての問題を象徴する日である2月11日に「日本会議」の草の根の動きと問題点を明らかにする学習会を開催します。平和センターは、長年にわたり、戦前の侵略戦争を美化する紀元節そのものである「2.11建国記念の日」を考える平和学習会の取り組みを行ってきました。今年は上記の演題で講演会を開催します。一般市民の皆様方におかれましても、積極的なご参加をお願い申し上げます。 |
| 参加費　　　**無　料**主催　岡山県平和センター協賛 ストップ戦争法！総がかり岡山実行委員会岡山市北区津島西坂1-4-18労働福祉事業会館tel:086-239-8400 fax:086-239-8644mail:okayamaken-peace@dune.ocn.ne.jp |